



NADPZ NEWSLETTER

MARCH / APRIL 2025

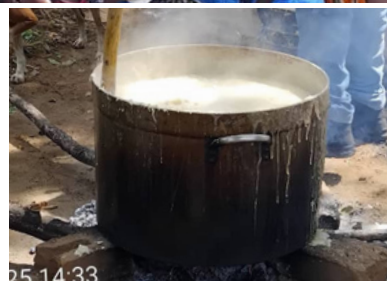
力と団結を称えて：国際女性デー2025

3月と4月は、目的とお祝いに満ちた多事多端な月でした。今年は、女性たちが誇り高く受け継いできた伝統——国際女性デーを祝って行進する活動が20周年を迎えました。

2025年のテーマは、ザンビアでも世界中でも共通して、「すべての女性と女の子のために：権利・平等・エンパワーメント」。このメッセージは、私たちのザンビア自然農法開発計画（NADPZ）プロジェクトサイトでも力強く響きわたり、多くの女性と女の子たちが一堂に会して、団結、強さ、そして互いを高め合う決意を分かち合いました。

カラフルなチテンゲ（布）をまとい、喜びにあふれた歌声を響かせながら、女性たちはプロジェクトサイトまで3キロを行進しました。会場は熱気に包まれ、特に印象的だったのは、このイベントが女性クラブによって完全に企画・運営され、地域の国会議員の力強い支援を受けて実現したことです。

私たちNADPZのモットー「女性を教育することは、地域社会を教育すること」——この信念は、今もなお力強く、意義深いものであり、今年の国際女性デーの行進への熱心な参加が、その理念を行動で示すものとなりました。



未来への力：自然農法への若者の参加

2006年に自然農法ショーを開始したことは、若者をこの活動に巻き込むという長期的な取り組みの始まりでした。私たちは当時も、そして今も、「若者を農業に結びつけること」は、農業の未来を形づくる上で不可欠だと信じています。若いうちから関わることで、農業を「重荷」ではなく、「チャンスと変革の原動力」として捉えられるようにしたいのです。

それ以来、次世代の農業従事者との関わりは大きく進展してきました。私たちは教育や技術研修を通して、若者を具体的に支援しています。ペンバ・プロジェクトサイトでは質の高い教育を提供するための学校を建設し、ムババラ・プロジェクトサイトでは、学校を卒業した若者たちのために、職業スキルを学べる技術訓練センターを設立・整備しました。そこでは知識だけでなく、「希望」と「生きがい」も提供しています。

今年3月12日には、ザンビアのナショナルユースデーを祝い、ムババラ・プロジェクトサイトで過去最大規模のユース・ギャザリングの一つを開催しました。2025年のテーマは「声を高め、革新を灯せ」。まさにこの日の精神を表す言葉です。若者たちの声を意思決定の場までに届けること、そして彼ら自身の地域や国が直面する課題に対して革新的な解決策を生み出すよう励ますことの重要性を示しています。



私たちはこれからも、若者たちがアイデアを分かち合い、創造性を発揮し、意味のある変化をもたらすことのできる場をつくることに深く取り組んでいきます。彼らの声を高め、革新を育むことで、単に彼らの未来に投資するだけではなく、自然農法とザンビア全体の持続可能な発展の未来を守っているのです。



シンダの農家たち、最新の研修で自然農法を実践へ

自然農法の研修チームは最近、シンダ・プロジェクト地域への四半期ごとの訪問を終え、種の採取技術に関する実践的な再研修を行いました。10時間におよぶ大変な道のりを経て現地に到着すると、チームは地元農家の熱意ある歓迎を受けました。彼らは知識をさらに深め、技術を磨くことに意欲を燃やしていました。

今回の訪問では特にうれしい出来事がありました。自然農法の取り組みに新たに5名が加わったのです。新メンバーたちは、東部州で自然農法運動に参加できることに大きな喜びを感じており、この地域の持続可能な農業ネットワークに貢献したいという強い意志を見せてくれました。

研修チームの熱心なメンバー、ビューティ・チョマは、現地の人々への敬意を語りました。「このメンバーに会うのをいつも楽しみにしています。とても活気があり、彼女たち自身の生活だけでなく地域全体を変えていこうという強い想いを持った人たちです」と話します。

彼女はまた、東部州の農村生活の特徴にも触れました。家々が近くに並び、農地を共有することで、特に植え付けや収穫の時期には助け合いの精神が自然と育まれているのだと言います。その一体感は、彼女が南部州で見てきたものとは対照的であり、地域ごとの多様な強みを再認識させてくれると述べました。



私たちは、この情熱と強さを持つ農家の皆さんを心から誇りに思っています。そして今後さらに多くの人がこの運動に参加し、自然農法の理念がこの地域を超えて広がっていくことを願っています。